

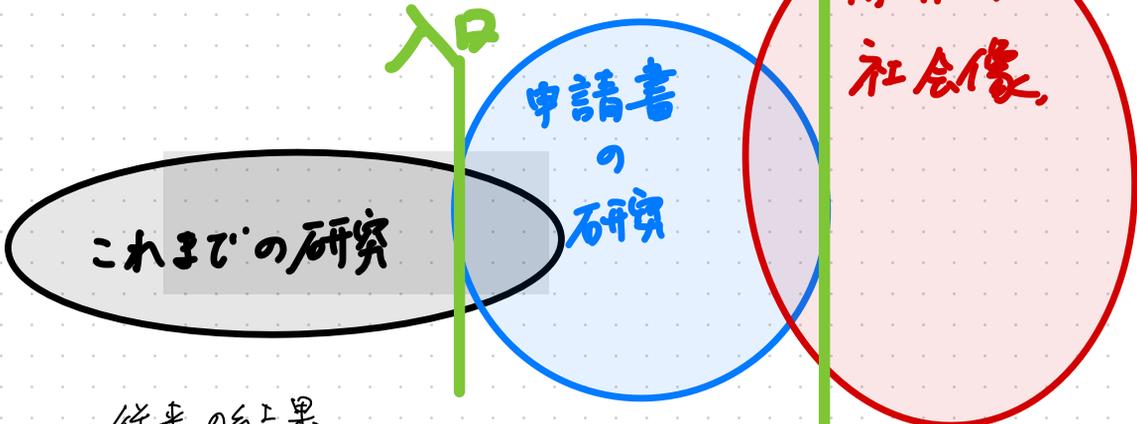
Dr. Kumada のグライムの書き方.



1. 公募要領, 申請書, 注意事項などをDL

2. 主要な業績, 押しの知財を決定する。

3. 研究の入口と出口, 将来



・ 従来の系結果

・ 既に保有の技術的知財

・ これまでの結果で見えてきた課題

形になっているもの(物新しい物)を中心に構築。(独自性)

・ 業界が抱えている課題をアポイント

・ 研究目的

・ 求める研究成果(目標)

何かとのかい子くるのか?
業界にどのようなインパクトを与えるのか?
★できる下で具体的に数値化

・ 課題解決のための方法

・ 成果物の知財戦略

・ 計画を細分化

- 項目
- 期間
- 担当
- 予算
- 内容, 求める成果, 知財

・ 体制 (役割を明確化)

・ 社会に与えるインパクト以外に!!

・ 明るい未来を描けるか?

・ 生まれてくる製品の位置付け

・ 既存製品の差別化

・ 競争に勝つ仕組み, 既存技術で出来るか? 競争が出来るとは?

・ 社会的に受け入れやすい製品

・ SDGs は必ず意識する

・ 実用化の見込み

・ 波及効果

4 申請書と Good notes 5 に取り込み, 各項目を全て手書きでやる。

5 図を書く。

1. 技術上の全体図 2. 従来品と本研究の比較 3. これまでの成果, 優位性とこれから出てくる優位性。

4. 研究体制と費用対効果。

6 各項目をうめしていく。

Font 11~12, コシッ, 色は黒 or 赤の2色。

7 誤字, 脱字のチェック

8 e-Rad の入力

9 投稿